

# コロニー大賞に下地さん

読んで  
広がる  
NIE

社会、文化、芸術活動などに力を尽くし、今後さらなる活躍が期待

される障がい者に贈られる「第17回沖縄コロニー大賞」(同実行委員会主催)の最終選考が7日、那覇市の沖縄都ホテルであり、国の重要無形文化財である宮古上布の織り



「第17回沖縄コロニー大賞」に選ばれた宮古上布の織り手の下地ヒロ子さん

## 宮古上布に20年

手の下地ヒロ子さん(57)は宮古島市IIが大賞に選ばれた。

離島に住む人の受賞は初めて。贈呈式は12月9日の障がい者の日に那覇市のザ・ナハテラスで開かれる。

高嶺豊選考委員長は「郷土に根を生やして地道に頑張っている姿が素晴らしい」と選考理由を説明した。

下地さんは病気の影響で手や足などに障がいがありながら、20年以上織物に携わってきた。

下地さんは「みんなに支えられながら前向きにコツコツやってきた。それが認められ感激している。まだ未熟で学ぶことが多いが、今後も地道に織り続けていきたい」と受賞の喜びを語った。